

事務事業評価シート

(H.29)No.	5020	(H.28)No.	5020
-----------	------	-----------	------

事務事業名	観光施設管理費		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	観光交流室	松本 孝寿	

会計区分	事業コード	364001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 商工費	観光施設管理費	
項 商工費	(小事業名)	
目 観光費	観光施設管理費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	活力に満ちて暮らせるまち
	基本施策	1	地域産業の振興
	施策	3	観光交流
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
観光施設が清潔、安全、快適な状態が保たれるようにきめ細やかな維持管理を行うことで、魅力ある観光地づくりを進め、観光地への入込客数増加を目指す。
事業内容
市内にある観光施設(キャンプ場、トイレ、ハイキングコース)の維持管理を行う。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)		H.29年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	観光施設管理に係る需用費(光熱水費、消耗品費、修繕料)、役務費(浄化槽法定点検、汚泥引抜)、委託料(観光施設等管理業務委託及びキャンプ場指定管理者への委託<平成24~28年度>)、キャンプ場土地賃借料、施設用備品購入、施設営繕工事費		観光施設管理に係る需用費、役務費、委託料、土地賃借料、備品購入、工事請負費(施設撤去費等含む)	
	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)		
	観光施設管理に係る需用費、役務費、委託料、備品購入、営繕工事費	観光施設管理に係る需用費、役務費、委託料、備品購入、営繕工事費	観光施設管理に係る需用費、役務費、委託料、備品購入、営繕工事費		

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		10,488千円		12,356千円	20,000千円	7,000千円	7,000千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他(手数料)				3,000		
	一般財源	0	10,488	0	9,356	20,000	7,000
人工数	職員		0.70人	0.50人	0.50人	0.30人	0.30人
	臨時職員等		0.45人	0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
②概算人件費	0千円	6,015千円	0千円	4,090千円	4,090千円	2,590千円	2,590千円
①+②総事業費	0千円	16,503千円	0千円	16,446千円	24,090千円	9,590千円	9,590千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度(取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
施設全般に老朽化がみられることから、修繕あるいは施設廃止等、状況に応じた対応を行った。赤目四十八滝、青蓮寺湖、香落溪を観光拠点として位置付け、自然環境を保全するとともに、これに調和する散策路等の環境整備を進め、魅力ある観光地づくりに向けて取り組んだ。管理業務委託については、地域の活動団体と連携・協働して進めている。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
平成28年度末に指定管理終了となった赤目四十八滝キャンプ場について、民間事業者との譲渡に向けた協議を行ったが、期限内に競技が整わず、平成29年度においては、市直営とし、引き続き譲渡に向けた協議を行うこととなった。また、老朽化した施設については、必要性を十分に見極め、廃止も視野に入れ検討を進めていく。	名張市観光戦略 名張市エコツーリズム全体構想